

海事法研究会誌

2
2018

- 論文 ○ 日本籍船舶に対するファイナンスに関する実務上の留意点 …瀬野 克久… 2
岡田麻由子
森下友理子
木村みどり
- 解説 ○ SUPPLYTIME 2017の検討 ……………星 誠…35
— 変更点を海洋資源開発の文脈で考える —
- 研究ノート ○ 英国仲裁法紹介 ……………黒澤謙一郎…60
第7回 仲裁人 (1)
— 仲裁人の報酬・費用 —
- 判例研究 ○ 共同海損法と実務 ……………森 明…72
(General Average: Law and Practice (No.5))
[2017] UKSC 68, The Longchamp
- 連載 ○ 海外判例紹介 (56) ……………高坂 昌明…84
◇密輸の嫌疑がかり本船が拘留されたために生じた時間の損失はオフハイヤーか、仲裁から英国高等法院への上訴が認められるか
◇熱帯水域への長期配船による船底の汚れから生じた本船の速力低下は速力担保条項の違反となるか
◇カーゴクレームに関し受荷主がHamburg Rulesの強制適用により提起したモロッコ訴訟は、船主が提起した英国訴訟におけるHague Rules Article III Rule 6に規定する出訴期限の中断事由となるか
◇Hague Rules Article IV Rule 5のPackage or Unit limitationの規定はバルクカーゴに適用されるか
- 連載 ○ 海運集会所書式・仲裁・鑑定関係会議日誌 ……………表3